

平成25年度事業計画書

自 平成25年4月1日

至 平成26年3月31日

社会福祉法人 こぼと会

あおぞら保育園

社会福祉法人こばと会 あおぞら保育園 25 年度事業計画

「根拠のある保育」をスローガンに昨年度は保育を進めてきた。子ども一人一人の個別性に配慮するには職員の経験則や気持ちの問題ではなく、子どもの抱える課題の抽出を同職員間で共有することができるかが重要な要素と考えての事であった。

子どもに関する研修としては、多摩市にある島田療育センターと共同し「感覚統合」の研修会を年間4回行うことで専門性の導入を図ったことで大きな進展を見ることになったが、今年度も引き続き研修を広げていきたい。

子どもの様態を理解するためには、いくつかの側面からの判断が必要であるが、保育の勉強だけではわからないことが多岐にわたる。特に最近では、発達障がいと呼ばれる子どもたちへの対応が難しく、大きな課題となっているが、私たちの保育園も同様に手から零れ落ちるケースも散見されていたが、この「感覚統合」を学んでいく中で子どもの行動に確実な変化を感じることができるようになった。子どもの引き起こす問題行動に着目するのではなく、その行動のきっかけとなる課題について考察することで、課題の原点を修正していく作業を行ったことがこうした行動の変化につながっていることを確信するものである。今年度もより広い視野から子どもの姿を追えるよう専門性の構築を張っていきたい。

また、保護者への支援に関しては十分な研修を積むことができなかった。講師の先生との意思疎通がうまく測れず自分たちの考える研修とは違う方向になっていたところから研修を修了する形になってしまった。今年度は前年の反省を踏まえ保護者支援についての全般的な理解ではなく、具体的な面接の技法など研修の対象として考えていきたいと思う。

職員に関しては、新しく理念を造り替えたことによる効果がすでに見え始めている。新しい指針に則り、着実に職員の成長へと結びつけるようしっかりと運営を図っていきたい。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
ひよこ組	0歳	3名	10名	
りす組	1歳	3名	16名	
うさぎ組	2歳	3名	20名	
きりん組	3歳	2名	26名	
ぞう組	4歳	2名	26名	
らいおん組	5歳	2名	26名	
ぱんだ組	一時	2名	20名定員	
ひだまりルーム	地域	0歳児 1歳児対象		

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計 294日
25	24	25	26	27	23	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
26	24	23	23	23	25	

ウ 健康管理

健康診断

乳児 毎月

幼児 年2回（4月、10月）

歯科検診 年1回（6月）

蟻虫卵検査 年1回（5月）

エ 保 育

保育目標

乳児の保育

一人ひとりの月年齢にしっかりと基準を作り、今必要なことは何かという具体的な提案がいつでもできるような保育を引き続き目指す。あくまでも3歳（36ヶ月）が大きな目安であり、生活習慣の自立が一人でできるのか、それとも大人にやらされているのか、しっかりと見極めた援助ができるようになることが目標である。

また、個人計画などの書式を通して職員と保護者が子どもの発達状況などの情報共有することを通し、コミュニケーションの進展、強固な信頼関係の構築を図りたい。

幼児の保育

一人ひとりが満たされた状態になると、発達特性として仲間関係の広がり出てくる。一つの目安を就学と捉え、基本的にはこの時期を目指す中で、今の年齢的発達の基準を考えていくとともに、個人差が大きな要素としてあることを鑑み、人格形成上の視点を取り入れ、子どもの精神的発達を踏まえながら、心身ともに豊かに育っていく子どもの援助を大きな目的とする。

児童表については、園独自の五領域表をもとに、個人それぞれに期毎にチェックを入れ、保護者とその情報をやり取りをしながら、子どものある部分をクローズアップするのではなく全体的な発達状況を踏まえながら、家庭生活、保育方法などの調整を行うことを目標とする。

地域事業

地域事業では、今年度も一時保育、地域ルームを中心に行っていくが、地域ルームでは、0・1歳児に合わせた活動を行っていくことを大きな目標とする。また、新たに学童クラブでの保育広場事業を展開する予定である。

0歳児・・・0歳児該当年齢の親子は、広場事業を継続して行う。登録制を基本とし、毎週2日を対象日とする。

1歳児・・・今年度もNOBODYS PERFECTというプログラムを（6回の連続講座）2クール行う。昨年登録した対象者に向けてのものと、今年度0歳児登録した方を中心に展開していく（保健師）

保育広場・・・今年度より学童クラブを中心とした保育広場の設置を考えている。保護者にとって育児は大きな喜びである。が反面、子育ての経験がまったくない中での育児は、大きな課題でもある。現代では、インターネットの普及による情報の氾濫があり、何を下に子育ての相談をすればよいか悩む事一入の事と想像される。そういった意味では、保育園の存在自体が社会にとってのかけがえのない資源であり、少しでも社会に対する有効な情報開示を行わなくてはならない。この保育広場を進めるに当たり十分に認識しながら専門家としてのアプローチ法を確立したいと思う。

主な行事予定	4月	入園式、保護者懇談会
	5月	遠足
	6月	お泊まり保育
	7月	プール開き、夕涼み会
	9月	保護者懇談会（茶話会含む）
	10月	運動会
	10月	ハロウィン行事
	11月	遠足
	11月	収穫祭（保護者との合同）
	12月	お餅つき
	1月	子ども会、
	2月	保護者懇談会、新入園説明会
	3月	お別れ遠足、卒園式
	月例行事	誕生会

オ 栄養管理

集団給食施設栄養報告 年 回

栄養素の質、量のバランスを考え献立表を作成
季節の素材を積極的に取り入れ、嗜好に富んだ献立を作成
給食供給者としての諸管理

カ 安全管理

交通安全教育（ 9月予定 ）
非常災害時の避難訓練
引き渡し訓練の実施（ 9月 1日）

（2）職員の処遇

ア 職員構成

園 長	1名
主任保育士	1名
保 育 士	19名
調 理 員	4名（栄養士含む）
保 健 師	1名
用 務 員	1名（非常勤）
嘱 託 医	1名（非常勤）
非常勤、パート	24名

イ 健康管理

健康診断 年 1回（ 4月）
細菌検査 年 2回
給食、0歳児調乳担当のみ毎月1回

ウ 職員会議

定例会 毎月 1回
行事前打合せ会（随時）
研修会議 毎月 1回
リーダー会 （随時）

エ 研修計画

○クマファクトリー横山氏による実践保育研修（年3回）
○毎月園内研修会議を行う
今年度は、家族支援・感覚統合についての研修を専門家を招きながら推し進めていきたい

○リーダー研修会議（日本能率協会主催：こぼと第一保育園と共催）

オ 退職・福利厚生

○福祉医療機構退職共済制度加入

○東京都社会福祉協議会従事者共済会加入

○健康検診受診

○職員のリフレッシュに伴う食事代等の助成（半額負担）

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

会計管理は、社会福祉サービスセンターと業務提携を結び、毎月の事務管理を協力して行う。労務管理は、多摩労務事務所と業務提携を行う。

イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

桜木システムの保育システムを導入しており、出席管理など一元的に管理できるものは、省力化も含めパソコンを通してのデータ管理を行う。

保育については、ソフトを使った情報の収集を心がけ、事務の省力化と、仕事の可視化を目指していく。

(2) 設備関係

ア 固定遊具の設備点検

毎月初日に安全点検を主任保育士、保健師立会いの下行う。

イ 建物点検等

建物検査等は、毎年3月にアイコーポレーションに依頼を行う。

今年度は特殊建物検査年。PDシステムに依頼

壁面の状況を勘案しながら、外壁の塗り替え時期を計画する。

(3) 備品関係

ア 備品購入予定

適宜そのときの状況を鑑み、購入を検討

イ 保育用品購入予定

乳児・幼児のおもちゃを発達ごとの課題をしっかりと押さえていけるように積極的に購入する。特に、紙製、木製のものでは、痛み・損傷の度合いによりきれいなもの、子どもが扱いたいと思う観点から購入を進めていく。

ウ 固定資産物品購入予定

適宜そのときの状況を鑑み、購入を検討。なお、その際は、理事会の承認をもらって行うようにする。

(4) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回。必ず消火訓練(実地)を行う。

イ 防災設備の点検委託

年2回(内、届け出1回) 富士消防設備に委託

ウ 非常食糧の備蓄

○ (全児童数+全職員数) × 3食 × (1日~3日) 分

3 地域社会との連携

4月のさくら祭りでは、会場控え室として、園舎を提供する。

10月ハロウィンでは、多摩センター地区連絡協議会と連携を図り、年長児を中心に行事に参加する。

4 その他

第三者評価アンケートを受審し、結果を公表する。(12月の予定)

児童・職員健康管理予定表

	児 童	予算額	職 員	予算額
4月	ギョウチュウ検査	(@120×124) 14,880		
5月			定期健康診断	(@11000×27) 297,000
6月	歯科検診	44,444	〇-157検査(全職員)	(@300*40) 12,000
7月	プール指導			
8月				
9月			救護法指導受講	
10月	年長児就学時検診		〇-157検査(全職員)	(@300*40) 12,000
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				
定期	(毎 月) 布 団 乾 燥 身 長 体 重 測 定 嘱 託 医 来 診	350,000 0 399,996	(毎 月) 給食及び調乳担当者検便	(@300×10×12) 36,000

保育関係		
4月	入園を祝う会 始業式 ギョウチュウ検査 父母懇談会	50,000 14,880
5月	こどもの日 交通公園見学 遠足	 13,000 電車代 10,000
6月	歯科検診 お泊り会	44,444 夕焼け小焼けの里 300,000
7月	プラネタリウム見学 プール開き 七夕	大人料金(4名分) 2,000
9月	防災引渡訓練 父母懇談会	150,000
10月	幼児組運動会 音楽会 さんま焼き会 保育参観(12月まで) 一日体験入園	100,000 100,000 10,000
11月	遠足 芋ほり・芋煮会	電車代 20,000 5,000
12月	餅つき 子ども会	10,000 150,000
		計① 979,324

1月	新年子ども会		
2月	節分 記念写真撮影 一日体験入園		
3月	ひなまつり 父母懇談会 卒園を祝う会	卒園記念品 その他	150,000 120,000
		計②	270,000
		合計①+②	1,249,324

定例行事

誕生会・身体測定・健康診断・避難訓練・布団乾燥・造形指導・お茶の稽古(年長)